

ふふっ、さあ……
シようじやないかマスター♡

何を、って……
この状況見たら分かるだろ!!

セックスだよ、セックス!

普通するだろ、流れて!



いや、だってほら……
キミは私が(当然)好きだろ？

だったら断るわけないし……

……え、わたし？

わ、私はまあ……
大魔女としてだなあ……

知識とかテクニックには
自信あるぞ、うんっ……



うへえ……

ドキ

(で、というか……
こんなのを挿れるのか……?)

(少し恐るじらぬかな……?)

ドキ

んっ……まあ、想定より
少し大きいくらいかな……?

いつでもいいよマスター
好きに始めてくれ♡

それじゃあ——



はっ……あ、んっ……
これがセックスっ……♡

んっ……♡

ズ
ズ
ズ

んっ……♡

んっ……♡

ズ
ズ
ズ

入ったあ……
マスターの……んっ……♡

んっ……♡

んっ……♡……♡

はあ……はあ……っ
ふっ……ふふ、ふっ……！

どっとうだい……っ
ちやんとデキた、だる……♡

本気を出したら
私だっつて、このくらいっ……

んやん♡

ぽんぽん

ぬん

いやいや……

まだ挿れただけだから
本番はこれからだよ

はえ……っ？



はっああっんはあっ♡
マスタっ……あっはあっ♡

んっんっ♡
♡♡♡

なっ……なにこれっ♡♡

ヒッ♡

刺激、強すぎるっ……♡

こんなの……
き、聞いてないぞっ……♡

ヒッ♡
ヒッ♡
ヒッ♡

ヒッ♡
ヒッ♡
ヒッ♡



じーじいあ……♡

私はっ……あうんっ♡
大魔女、なんだぞっ……♡

もっと丁寧に……
扱わないかっ……♡♡♡♡♡

あ……

あ……

そっし……でも……
気がいると思っ……

これから毎日しちゃっからな

ま、毎日っ……!?!?

(そ、それって……♡)

ん……

ん……

ん……

ん……

ん……



ふっ♡おっ♡……♡

はっ♡

それは、つまり……っ

私とずっと一緒に
いられるの……っ

何処にも行かないでくれる……？

おっ♡

おっ♡

おっ♡

おっ♡

うん、キルケーが望むなら
ずっと側にいるよ

っ♡……♡

おっ♡

ほ、本当だなんつ
本当に私なんだな!?

絶対の絶対だぞ!!

嘘だったら本当に
ピグレットにしてやるからなあ!

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ
トキ
トキ

(嘘じゃないと首を振る)

(同時に深く腰を突き出して)



んあつ、はああああああつ……♡

♡……♡
♡……♡

ビクッ♡

♡……♡
♡……♡

あつ……あつ……
これがマスターの♡

せーえき、っ……んっ♡

ビクッ♡

んあつあ、キタあ……♡

ズズズズズズ



はあはあっ……中に出された……♡

はっはっ
はっはっ
こんなんで……つまり私のことを好きってことだね……？

うん、そうだね

はっはっ

ふ、ふうん……まあ君が私にメロメロなのは最初から分かってたことだけど……

な、なんだよおその顔っ……

……よ、よしっ！

君がその気なら私も覚悟を決めるぞ！

どい
びが
と
♡
♡
♡
♡
♡

♡
♡
♡
♡
♡
♡

ふ、ふふっ……
これが何か分かるかい？

ドキ

ドキ

簡単に説明するとね……

わたしのカラダを
妊娠可能じゅにんにさせたのだよ、愛豚エウレット♡

!?



不可能じゃないさ
なんたって大魔女だからね♡

私がこうした意味——
分かってくれるだろ？

キミの子ども
つまりは既成事実が
欲しいってことだ♡

きゃん♡

きゃん♡

ッ……ッ



んはあっ♡あっ♡はあっ♡

マスター、さっきより……っ

ん
っ♡
っ♡

あっあ、そんなに私の……っ♡

あっっ♡あっっ♡……っ♡

ダメっ、ダメっ♡
感じずきぢゃっってるかっ♡
っ♡っ♡っ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡
んっ♡



ふーっ、ふーっ……♡

マスターのおち○ほ
子宮、トントントントント……♡

あんっあ、そこは……っ

じゅんび
今、排卵してる最中だからっ……♡

君にそうされると……
ますます受精したくなっちゃう……っ♡

おち○ほ

おち○ほ

おち○ほ

おち○ほ

おち○ほ



好きだよキルケー

♡.....♡.....♡.....♡.....♡

あ〜っ

あ〜っ♡

♡.....♡.....♡.....♡.....♡

急にそんなことして
言わないでくれっ.....♡

う、嬉しくなるだろお.....♡.....♡

いっ
ん

♡.....♡.....♡.....♡.....♡

いっ
ん

♡.....♡.....♡.....♡.....♡

♡.....♡.....♡.....♡.....♡

♡.....♡.....♡.....♡.....♡



おっ、おっし……♡
もう、っ……ひめっ……♡

おま○こいキすきで
おかひくなるっ……♡

お、おわっ……♡
終わりに……♡

子宮、目掛けて……♡
たくさんびゅびゅっ……♡

あっあ、好きだっ♡
マスター好きっ……♡

君の子種で私を孕ませてえっ♡



おっ、おっ、おっ……んおおおおっ♡

ビク、

おっ……♡

おっ……♡

ビク、

ビク、

マスターのが……びびる……
流れてくる……♡

ビク、

子宮に……びびる……
直接入って……♡

ズンズン



おっ……おっ……おっ……♡

(マスター……っ
私のこの本気で……♡)

(孕ませぬじもり……♡)

(射精しながらおち○ぽ
……っ……っ……♡)

(これ、絶対受精したあ……♡)

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
♡
♡
♡

ズッ
ズッ
ズッ
♡
♡
♡

ズッ
♡
♡

ズッ
♡
♡

ズッ
ズッ
ズッ
♡
♡
♡

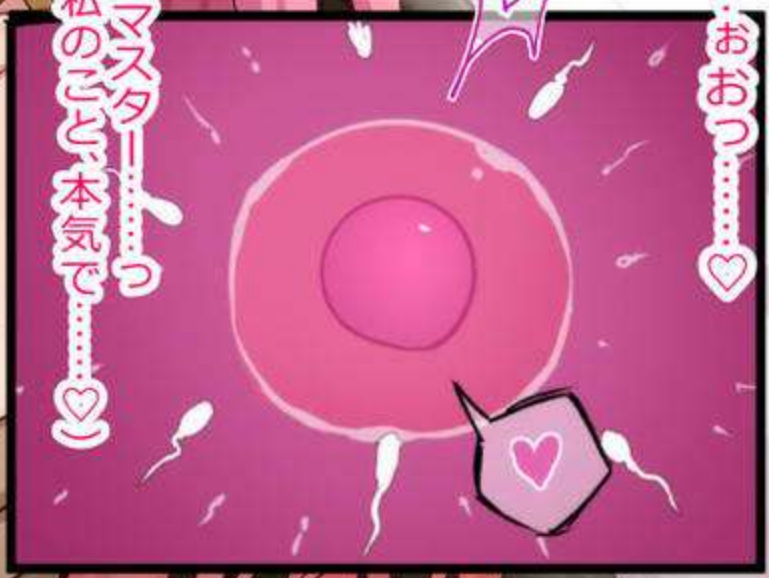
おっ
♡
♡

おっ
♡
♡

♡
♡
♡

♡
♡
♡

おっ
♡
♡



はー、はーっ……♡
約束……だぞ、マスター……♡

私のこと……
一人にしないで……え？

はー
はー

はー
はー

心配ない？ ほっほっ……？

……うん……信じてるわ

君と一緒にいてくれるなら……
わ、私も……なんだっでするからね♡

ド
ド
♡
♡
♡

ど
ろ
ろ
♡
♡
♡

ど
ろ
ろ
♡
♡
♡

ど
ろ
ろ
♡
♡
♡

ど
ろ
ろ
♡
♡
♡





その後……

どうだいマスター？
正真正銘、キミの子だぞ♡

この調子でどんどん
子作りを重ねていこうじゃないか

♡ポッ♡
♡テッ♡

ふふっ、そうして
このカルデアに……

豚小屋……じゃなくって
私たちの愛の巣を作ろう♡♡



んああっ♡
はあっ、めああめあんっ♡

マスターってば……
いいきなりい……んあっ♡

んあっ♡
んあっ♡

ヒクッ
ヒクッ

ヒクッ
ヒクッ

す、すっお……っ♡
全然容赦、ないじゃないかっ……♡

ヒクッ
ヒクッ



あつ♡あつ♡好きっ♡
それすごく好きいつ♡……♡

マスターのぶっ♡
すごく感じちゃっつ♡……♡

あつ♡

あつ♡

んっふあはあっ♡……♡

お、おち○ぽ……♡
そんなトコロまで……♡

あ、赤ちゃんっ……♡
起きちゃっうだろお、えっ♡……♡

あつ♡
あつ♡
あつ♡

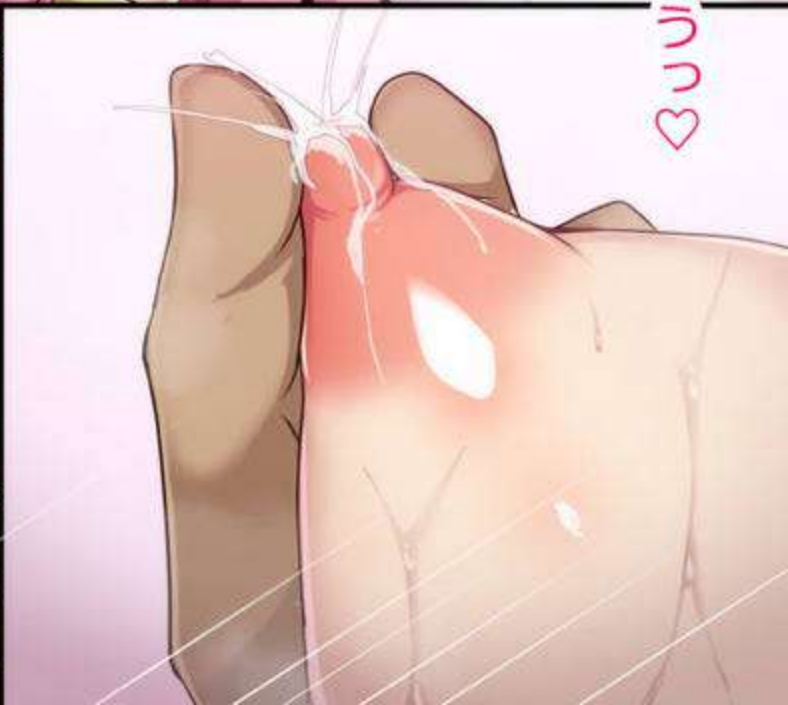
あつ♡

あつ♡

あつ♡

あつ♡

ちせーんんん♡



マ、マスター……くひいて♡

おしゃべり

おしゃべり

おしゃべり

おしゃべり

そっ、そんなムムム
摘まないで……♡

おっ……いっしきけ、いっしきけ♡

ダメっ、ダメっ♡
それキモチよくなるからおっ♡



あっ♡あ、アっ……♡

はぁっ♡

もうダメっ♡イクっ♡

はぁっ♡

ドキッ♡

子宮どちゅどちゅせれへっ♡……っ

あ、赤ちゃんいるけどっ♡……
イクっ、イクっ……♡

マスターもだしてっ♡

わたしのこと
大好きって言うてくれえっ♡

ドキッ♡

ドキッ♡

ドキッ♡



射精るぞキルケーツ……
愛してるっ……！

んおっ…おおおおっ♡

マスターの愛豚おち○ほ
びゆるびゆる射精してるっ♡

ビクッ

おっ♡おっ♡やめっ……♡
それ以上は入らなっ……♡

ズンズンズン

ビクッ
ビクッ
♡

ビクッ





おっ.....おっおっ.....

おっ.....おっおっ.....

マスターのハッ...
射精、まだ続いているっ.....

ふーっ.....ふーっ.....

ふーっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ

ふーっ
ふーっ
ふーっ
ふーっ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ

ハッ
ハッ
ハッ



はー……はー……

好き……マスター……
大好き……♡

はー
はー

はー
はー

私のこと……
連れ出して……

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

「これが幸せってやうなのかな？」

「何ともまあ……
甘い代物なんだね……♡」

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



ふふっ、そうだ！

うたげ

いずれ盛大な結婚式を開こう

他の者も招待して……
キユケオリン
特製の麦粥も振る舞って……え？

そこまでしなくていい？

う、うん……まあ
君がそう言うなら……

もっとささやかな祝宴でも……
ピクレット
私は異論はないよ、マスター♡





































